

## B3 輪講 LaTeX 課題

## 1 はじめに

進捗報告や研究発表会の際の資料などに望ましい LaTeX の構成例です。

この PDF の例を見本として、「practice.tex」を元に同じものを作成してください。

名前や日付は適切なもの書き換えてください。

## 1.1 課題での留意点

- ~practice~ の部分を適宜補う
- 図表を適切な位置に張り付ける
- 図表と式に対しては \label と \ref を使う
- bibtex を使って参考文献をのせる

## 2 要素技術

## 2.1 要素技術 1

データ  $x_1, \dots, x_n$  から出力  $y$  を得られる。(1) 式に具体的な算出方法を示す。

$$y = \sum_{i=0}^n \frac{\exp(x_i)}{x_i} \quad (1)$$

## 2.2 要素技術 2

Bengio らはニューラルネットワーク言語モデルを提案した [1]。Bahdanau らは出力ごとに入力単語に対する荷重を決定してエンコードするアテンションモデルを提案した [2]。

## 3 提案手法

提案手法はうんたらかんたら ~

## 4 実験

実験をかくかくしかじか ~

表 1: 実験結果

予測	評価関数	Accuracy [%]	Baseline [%]
投票先	160,284	79.43	75.68
処刑先	21,626	89.26	79.31

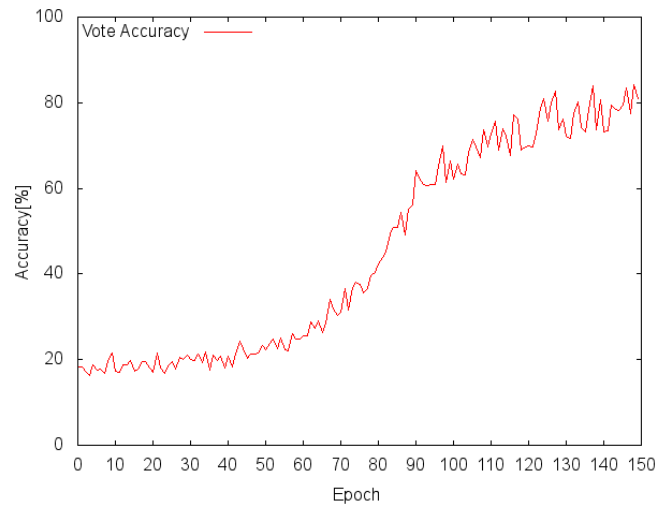


図 1: Accuracy の推移

## 5 実験結果

表 1 に実験結果を示す。図 1 に Accuracy の推移を示す。

## 6 今後の課題

今後の課題はうんぬんかんぬん ~

## 参考文献

- [1] Yoshua Bengio, Réjean Ducharme, Pascal Vincent, and Christian Jauvin. A neural probabilistic language model. *Journal of machine learning research*, Vol. 3, No. Feb, pp. 1137–1155, 2003.
- [2] Dzmitry Bahdanau, Kyunghyun Cho, and Yoshua Bengio. Neural machine translation by jointly learning to align and translate. *arXiv preprint arXiv:1409.0473*, 2014.